

2024 年度 ニチキッズさっぽろ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 6 日（月）～1 月 24 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年1月30日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受容し寄り添うこと、子ども達の気持ちを汲み取れることを日々意識しながら保育ができるよう、研修を受けたり、会議で話し合ったりした。
子どもの発達援助	面談などを通じて子ども達の個性や成長など保護者との情報共有に努めた。また必要に応じて園内だけでなく、地域の各関係機関と連携を取りながら子ども達一人一人に合った関わりを持てるよう努めた。
保護者に対する支援	送迎の際にその日の子どもの様子や成長を感じられた場面などを具体的なエピソードを取り入れながら話すことを意識した。また保護者が参加する行事やクラス懇談などの機会を増やし、保護者同士の関わりも多く持てるようにした。
保育を支える組織的基盤	職員会議や 15 分ミーティング、職員面談の他にも毎日の昼礼を取り入れ、職員間での情報共有を意識した。また外部講習にも参加し、保育士一人ひとりの保育の質の向上への基盤づくりへ繋げることが出来た。

総評
今年度は行事や日々の保育に対しての考え方など、前年度まで当たり前と思いながら行ってきたことを一つ一つ見直し、根本的なねらいや子ども達にとっての最善を意識し、考えながら進めてきた。また職員がチームであることを意識できるよう、話し合う機会を多く設け、一つ一つじっくりと話し合いながら行事や日々の保育を進める事が出来た。今年度作り上げた土台を生かし、来年度は職員一人一人が更なるスキルアップを目指しながら、子ども達一人一人の気持ちに寄り添った、丁寧な保育を行なっていきたい。